

研究課題：乳房ソナゾイド造影超音波における背景乳腺の造影効果についての  
検討

実施責任者： 放射線医学教室 医員 芳賀真代

実施分担者： 総合画像診断センター・教授 平井都始子

病理診断学講座・助教 中井登紀子

消化器総合外科・学内講師 小林豊樹

消化器総合外科・病院助教 中村卓

総合画像診断センター・助教 丸上亜希

放射線科・講師 伊藤高広

放射線科・教授 吉川公彦

**研究目的：**ソナゾイド造影超音波は乳腺腫瘍の良悪性の鑑別診断に対し有用性が報告され 2012 年 8 月に乳腺腫瘍性病変に対し保険適応となりました。腫瘍は背景乳腺と比較し強い造影効果を示し腫瘍の進展範囲も評価可能ですが、ときに背景乳腺も強い造影効果を示し腫瘍径が評価困難な場合があります。今回我々は背景乳腺の造影効果の程度と患者臨床情報や病理像と関連があるか後方視的に検討します。

**対象：**2010 年～2013 年に乳房ソナゾイド造影超音波を施行した方です。

全症例、乳腺外科医がインフォームド・コンセントの上、検査を施行しています。

**研究期間：**この研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会承認年月日から平成30年12月31日まで行う予定です。

**研究方法：**保存しているソナゾイド造影超音波の画像データから乳腺腫瘍と背景乳腺のそれぞれの濃染パターンを確認します。背景乳腺の濃染と、患者臨床情報や背景乳腺の病理像との関連の有無を後方視的に検討します。

**当該研究に参加することにより期待される利益および起こりうる危険ならびに必然的に伴う心身に対する不快な状態について：**後方視的な研究であり負担やリスク、利益は生じません。

**個人情報の取り扱い：**収集した情報は名前など個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会などで発表する予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**その他：**この研究のために新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる方に謝礼はありません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

上記の研究の対象に該当する方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご

承諾いただけない場合には、奈良県立医科大学付属病院 超音波室または放射線科／総合画像診断センター までご連絡ください。

実施責任者： 放射線医学教室 医員 芳賀真代

実施分担者： 総合画像診断センター・教授 平井都始子

病理診断学講座・助教 中井登紀子

消化器総合外科・学内講師 小林豊樹

消化器総合外科・病院助教 中村卓

総合画像診断センター・助教 丸上亜希

放射線科・講師 伊藤高広

放射線科・教授 吉川公彦

問い合わせ先：奈良県立医科大学 放射線医学教室 芳賀真代

連絡先 0744-29-8900

URL : <http://nara-radiology.com/>